



学校教育目標

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～

～かけがえのない自己の人生に目を開き、
たくましく自己実現していく生徒の育成～



校訓

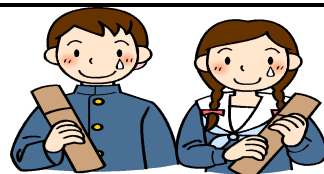
自主・剛健・高雅



東金市立東金中学校 学校だより第23号 令和7年3月3日発行 文責：主幹教諭 椎名 慶久



『有終の美』を飾りましょう！



いよいよ3月を迎え、今年度もあと残すところ僅かとなりました。
3年生については、登校する日数はあと7日間です。3年前、期待と不安の入り交じった思いで入学したみなさんは、今や堂々と胸を張って誇らしく卒業していく「カッコいい先輩」です。残された日々を大切に、最後まで「一生懸命はカッコいい」ということを後輩たちに、行動で示して巣立っていくことを願っています。
そして、これから2年生は、最高学年として、1年生は、中堅学年として自覚していくことが大切です。それぞれの学年の卒業証書授与式に向けた1週間の取り組みが、それぞれの学年及び学校の1年間の評価となります。513名の力を合わせ、「有終の美」を飾れるように意識して行動していきましょう。

令和6年度卒業証書授与式 3月11日（火）
受付 8：30～ 卒業生入場 9：05 開式 9：15

『3年生を送る会』



2月28日（金）、3年生を送る会が開催されました。1・2年生の生徒たちが、3年生に感謝の気持ちを込めた工夫された催し物や合唱等を披露しました。3年生も素晴らしい合唱を披露し、心温まる会となりました。

生徒会本部及び実行委員会のみなさん企画、運営ありがとうございました。



『ひな祭り』



3月3日のひな祭りは、「桃の節句」、「弥生の節句」ともいわれ、女の子の美しい成長と幸福を願うものです。
＜由来＞

ひな祭りはもともと五節句の一つ「上巳（じょうし）の節句」でした。古代中国では、この日「忌日（いみび）」とされ、水辺で体を清め、厄払いが行われていました。これが伝わり、日本では、人形にけがれを移して水に流す「流し

びな」の行事となり、「ひいな遊び」というお人形遊びとなりました。これが節句となり、ひな人形を段飾りにして、美しく飾って祝うようになったのは江戸時代になってからです。この習慣が一般家庭に定着したのは、明治以降のことのようです。

「暮らしの歳時記」より

生徒の活躍



◆山武郡市中学校技術・家庭科作品展	
優秀賞	八木 碧士（1年）
	岩城 梨彩（1年）
	浅野 蒼介（1年）
	鈴木 結真（1年）
	蛭原 春真（1年）
	関谷 遙（1年）
	柴崎 里帆（1年）
	山口 那由多（1年）
	吉川 日向子（1年）
	山澤 柚葉（1年）

◆千葉県小中高校書初展覧会	
書星会賞	浅野 蒼介（1年）
	綿貫 凜杏（3年）
特選	猿山 和佳（2年）
	大塚 萌衣（2年）
	榊原 知美（2年）

◆山武郡市小中学校書初展覧会	
最優秀賞	浅野 蒼介（1年）
優秀賞	榊原 知美（2年）
	綿貫 凜杏（3年）
優良賞	尾脇 瑠華（1年）
	大塚 萌衣（2年）
	館 莓花（2年）